

平成30年度 学校評価（教育活動評価）の結果

桐生市立天沼小学校

1 平成30年度の取組

天沼小学校では、学校教育目標の達成を目指し、様々な取組を行ってきました。主な取組は以下の通りです。

<学校教育目標>

心豊かに たくましく 学び深める 児童を育成する。

学校と家庭の連携を図って『天沼小みんなの願い』の実現を目指す

- 1 いじめのない、みんな仲良しの学校にする。
- 2 みんなが健康で、安全な学校にする。
- 3 みんなが元気にあいさつできる学校にする。
- 4 みんなが一生懸命勉強する学校にする。
- 5 みんなが一緒に活動したり、遊んだりする楽しい学校にする。

<主な取組>

I 保護者との連携

- 「〇〇だより」などのペーパーの他、Web ページやふれあいメール等、伝える内容等によって適切な方法で連絡を行い、連携を図る。
- 児童、保護者からの相談を受ける態勢を整え、相談に応じるようにする。

II 確かな学力の育成

- 朝学習の時間の工夫。
基礎基本を定着させる時間、発展的な問題に挑戦する時間を確保し、取り組ませる。
- 「国語コンテスト」「算数コンテスト」の実施。
コンテストに向けて、集中的に漢字練習、計算練習等に繰り返し取り組ませる。
- 家庭学習の充実と習慣化。
家庭学習がんばり期間を設定して、家庭学習の手引きとチェック表の活用により家庭と連携を図って学習習慣の定着を図る。
- 校内研修による授業の改善。
道徳科における話し合い活動の工夫を通して、共に学び合い、高め合う児童の育成を目指す。

III 豊かな心の育成

- 「天沼小よい子のルール」の共通理解と徹底。
- 異学年交流活動（たてわり活動）の充実。
- 人権週間における人権意識高揚の取組。
- 児童会によるあいさつ運動等の実施。
- 児童によるいじめ防止活動。

IV 基本的な生活習慣と健康・体力

- 体育的行事を核とした計画的な体力づくりの指導。持久走大会、長縄大会の開催。

- 食事や睡眠時間等の生活環境調査の実施。調査結果を家庭に配付するなど、情報提供及び啓発を行う。アウトメディアの呼びかけをする。
- 「学校保健委員会」の開催と保健活動の充実。
- 手洗いやうがい、歯磨きを励行するとともに、休み時間等は積極的に外で遊ぶことを勧める。

V 安全確保

- 実際の事例を想定した各種避難訓練の実施。
- 災害時、緊急時の登下校の手引きの作成。
- 「子ども安全協力の家」への調査、依頼等。
- 地域や保護者及び警察等関係機関と連携し、交通安全や不審者対策に努める。

2 取組の結果

上記のI～Vのことについて、取組状況は十分であったか、子どもたちが望ましい姿に変容したかを、保護者、児童、教員にアンケートを行い、考察しました。

(1) アンケート調査の結果

左から	よくあてはまる	あてはまる	あてはまらない	全くあてはまらない
-----	---------	-------	---------	-----------

項目Ⅰ 保護者との連携

1 学校は、子どもの様子を適切に伝え、保護者と連携して指導にあたっている。



2 学校は、担任や、スクールカウンセラーなど相談に応じる態勢がある。



項目Ⅱ 「確かな学力」の育成

3 子どもに確かな学力を身に付けさせている。

◇授業はわかりやすい



◇宿題と自主学習の両方取り組んでいる。

いつも両方 できるかぎり両方 宿題だけ



4 学校と家庭が連携して、家庭学習の習慣化や充実に努めている。

◇学校では、子どもたちに学力を身につけさせるために、授業や家庭学習において工夫した取組を行っている。



◇

子どもの家庭での学習を支援している。



項目Ⅲ 「豊かな心」の育成

5 児童は、進んであいさつをする、身の周りの整理をするなどの望ましい行動が身に付いている。





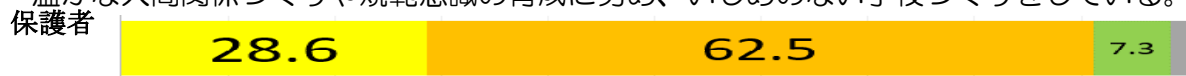
◇すすんであいさつをしている。



6 児童は、相手の立場や気持ちを考えて、思いやりをもって友だちと関わっている。



7 温かな人間関係づくりや規範意識の育成に努め、いじめのない学校づくりをしている。



◇「天沼小のよい子の一日」や「よい子のルール」を守って生活している。



項目Ⅳ 基本的な生活習慣と健康・体力づくり

8 児童は、食事や睡眠など規則正しい生活習慣が身に付いている。



9 子どもの健康に留意し、体力づくりに取り組んでいる。



◇運動や外遊びを積極的にしている。



項目Ⅴ 安全確保

10 子どもの事故の未然防止や災害対応の対策が十分にできている。



11 児童は、学校内外の事故防止や安全な登下校など安全を意識して、行動している。



(2) 結果の考察

◎ 継続したいよいところ

● 改善努力したいところ

I 保護者との連携について

◎学校から家庭に学校・学級だより、保健だよりやふれあいメールなどで必要な連絡や子どもの様子が伝えられていると考えます。児童及び保護者との教育相談は、スクールカウンセラーや教育相談員によって随時応じる態勢を整えており、相談の件数が増えています。

●家庭と学校が連携した子どもへの指導という点では不十分な面もあります。集団生活の中で見せる子どもの姿と家庭で見せる子どもの姿の両面を知って、学校ができること、家庭ができることを

互いに理解しあって、子どもの成長につながる指導を行っていきたいと考えます。また、教育相談の申込については日程や時間を調整する必要がありますので、電話等で教頭に希望をお伝えください。

Ⅱ 「確かな学力」の育成について

◎ 学校での授業の工夫や学力向上のための取組について、子どもによる、「授業は分かりやすい」という評価が昨年度の 91.2 %から 96.3 %と向上しています。今後も、子どもたちに分かりやすく、そして学力向上に資する取組を行います。

◎ 家庭学習の充実と習慣化は、本校の重点事項です。家庭でも支援していただいていることがわかります。81 %の子どもたちが、宿題と自主学習の両方に取り組んでいることがわかります。

● 今後、子どもたちの家庭学習が習慣化し、意欲的に学習に向かい、確かな学力を身に付けていけるように、さらに学校と家庭で連携協力をしていきたいと思います。

Ⅲ 「豊かな心」の育成について

◎ 「進んで挨拶をする、身の整理をする」については、「できている」が教員・保護者とも 80 %を超えています。児童も「挨拶」については「よくできている」の回答が昨年度の 89.1 %から 92.9 %と伸びました。児童会や民生委員さんによる「あいさつ運動」が効果を上げたように思います。

◎ 「いじめのない学校づくり」については、保護者・児童とも 90%以上の回答でした。今後もいじめ防止活動や「天沼小のよい子の一日」「よい子のルール」をもとに子どもたちの規範意識が高められるよう指導・支援していきたいと考えます。豊かな心の育成に資するために、保護者の方と連携・協力していききたいと考えます。

● 「進んで挨拶をする、身の整理をする」については、教員の結果から、声をかけられて挨拶するのではなく、自分から進んで元気に挨拶ができる児童を増やしたいという点があげられました。学校では、朝の交通指導の人たちや、学校で会う来校者に自分から挨拶することを今後も指導していきます。

● 「相手の立場や気持ちを考えて行動する」については、集団生活の中で見ている教員とわが子中心に見ている保護者では、評価にずれがあります。他人の立場や気持ちを考えての望ましい言動は、集団生活の中で育もうとしないと育たないと考えますので、今後も本校の重点項目として取り組む必要があります。

Ⅳ 基本的生活習慣と健康・体力づくりについて

◎ 児童の健康・体力づくりにかかわる学校の取組について、よい評価となっています。今後も子どもの健康を増進させ、体力の向上になるように、保健活動と体育の充実を図り、家庭と連携して指導していきます。

● 規則正しい生活習慣については、教員も保護者も「よくできている」が減少しています。小学生にとって大切な項目ですので、「早寝・早起き・朝ごはん」、アウトメディアの励行などを続けていく必要があります。

Ⅴ 安全確保について

◎ 安全対策については、今年度も災害時を想定した引き渡し訓練を実施し、不測の事態に備えることができました。これで十分ということはありませんので、今後も安全安心を目指して改善を進めていきます。

● 交通事故を防ぐために、子どもが自分の身を守る意識を高め、適切な行動することを家庭と学校で連携して指導する必要があります。